

今回の本題に入る前に、少し琵琶湖疏水工事が始まった前後の京都の街の様子をご紹介します。平安時代以降、京都が長きに渡って『都』が続いてこれた原因の一つに周囲三方向が山に囲まれた盆地であり、山が城郭の囲いの役目をしてくれる立地条件が良かったこととその盆地に住む人にとって重要な水が川や地下水によって賄える場所であった事も大きな理由であったようです。

明治維新以降、思ってもいなかった江戸（東京）への遷都（せんと）。[京都人は宣誓がなされていないことを理由に今でも奠都（てんと）と呼ぶ人がいますが。]

山紫水明と言われた京都の実際の姿はどンドン焼け＝蛤御門の変＝によりまたもや大半が焼け野原となった街。それと同様に周囲の山は人びとの食事の竈を炊くための薪に使う為に「はげ山」と化したみずぼらしい姿となっていました。

琵琶湖疏水（第一疏水）の工事が始まった頃の疏水を造る目的の第一は水運（日本海側からの物資を琵琶湖内での船での輸送）を大津から疏水の水運を使って京都（都）に運ぶことでした。その次に琵琶湖の水は飲み水ではなく、水力（水車）を動力に使うことで産業（工業）の発展に寄与させることだったのです。

京都市内には東に鴨川、西に桂川という川が2本、北から南へ流れています。決して水量は多いとは言えませんが、市内は地下を流れる地下水を利用した井戸が町内の至る所にありました。

私が生まれた時代では一軒家には大抵手押しポンプが有って井戸水を組み上げて炊事や風呂（五右衛門風呂）や洗濯に使い、市内に多くある路地（ろおじ）＝ろうじにもその奥には共同で使う井戸が必ずといって良いほどあったと記憶しています。

逆に鴨川や桂川は水量が少なく浅かったこともあり、明治後半頃には京友禅での余った染料や糊を落す為に川で洗い流す、所謂「友禅流し」の為に川は様々な色の染料の混ざったカラフルな色になって上流から流れて来る為、とても飲み水としては使えない状況に陥っていました。

そうした事もあり琵琶湖疏水は飲料水専用としての第二疏水を全工程トンネルで掘らざるを得ない状況になっていたのです。

そんな時代背景は後から起こって出てきた（第一疏水が最終的には発電という工業に取っては一番大事な事が手に入ったことで京都の街は復興の目途がたってきた）のですが・・・ここで前置きは終了ですHi

Vol.1に続き、今回は仲間と主催している「恩返しプロジェクト」の番外編として2022年5月19日に実施しました「第1回 琵琶湖疏水を歩く その1 大津市・三保ヶ崎JR山科駅」～明治の若き技術者と為政者による京都復活のクロスロード～ と題した【健康ウォーク&歴史探訪】をご紹介します。

この企画は平安京クラブが京都市が「明治150年 京都のキセキ」プロジェクトを立ち上げて行ったことに賛同し、PRの応援の一環として記念局8N3MKKを運用した中での経験を元に後日実施したものです。

ただ単に琵琶湖疏水沿いを歩くのではなく、折角の機会だと思って私が実際に歩いた時に調べたり、駒札を読んで記録しておいたりした事などをガイドに盛り込むことで当時の歴史も知ってもらいこの琵琶湖疏水と同様に少しでも時代背景などを理解してもらえればと考えてガイド資料として参加者の方にお渡ししてみました。

パンフレットの他、画像中心及び用語集などが中心です。

恩返しプロジェクト 番外編  
健康ウォーク & 歴史探訪  
第1回 琵琶湖疏水を歩く その1 大津市・三保ヶ崎～JR山科駅  
～明治の若き技術者と為政者による京都復活のクロスロード～



開催日 令和4年5月19日(木)又は21日(土)  
出発 10:00～(昼食)～15:00  
現地集合 JR山科駅にて解散 雨天決行・荒天中止  
参加希望者の多い方に決定 (最低実施人数:1名)

受付場所 京阪・石山坂本線 三井寺駅前

受付時間 午前9時30分～午前10時

参加費 無料 (昼食は各自にてご用意ください)

主催 恩返しプロジェクト (担当&ガイド: 岡口)

コース 京阪・三井寺駅 ⇒ 大津市・三保ヶ崎 ⇒ 大津開門 ⇒ 第一トンネル (東口) ⇒ 三尾神社 ⇒ 長等神社 ⇒ 小関越え追分 ⇒ 第一壱坑 ⇒ 第一トンネル (西口) ⇒ 藤尾橋 ⇒ 四ノ宮船溜 ⇒ 諸羽疏水公園 ⇒ 安祥寺水路園 ⇒ JR山科駅  
全行程 約6.7km (最大標高差 約110m: 小関峠)  
約20分ほどの登り坂がありますので靴はトレッキングシューズや履き慣れた運動靴等でご参加ください

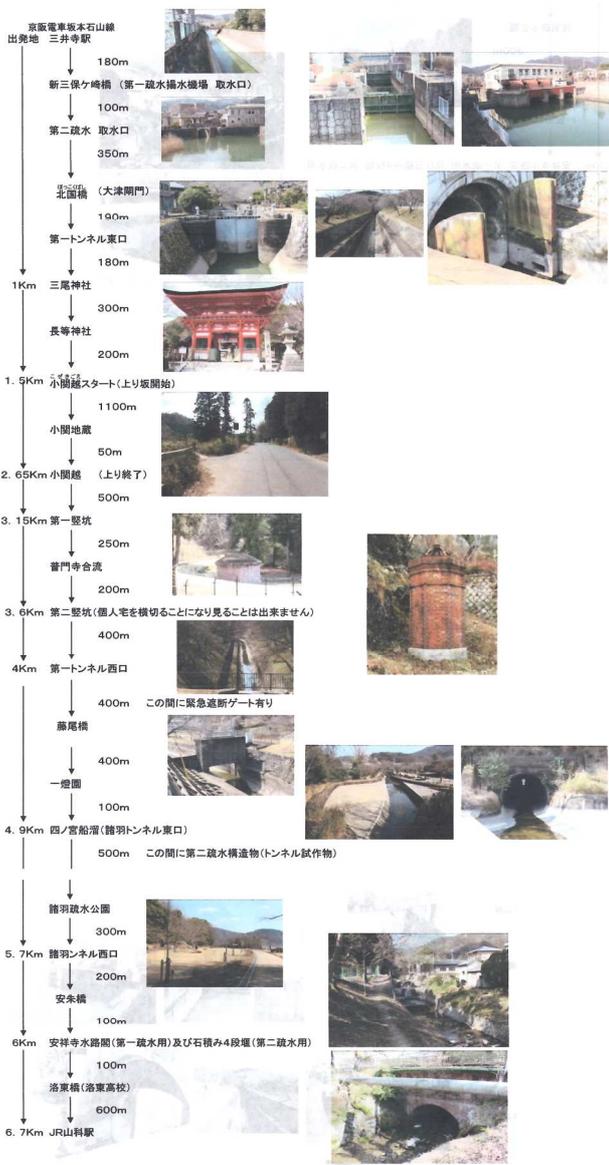
申込み 出来る限り事前 (実施前々日くらい迄) に参加申込みをお願い致します。  
申込みはメール (jh3mkp@jarl.com又はjh3mkp@ezweb.ne.jp)またはLine(無線グループ一斉連絡CD)にて。一般の方の参加も自由ですので、ご近所の方やお友達と一緒にの参加も大歓迎です。その際も人数だけは事前にお知らせください  
当日お渡しするパンフレット及び資料の準備がありますので!



今回は上記散策地図の右半分: 京阪三井寺駅からJR山科駅までのコースです  
2回目は散策地図の左半分: JR山科駅から南禅寺までを予定しています



パンフレット



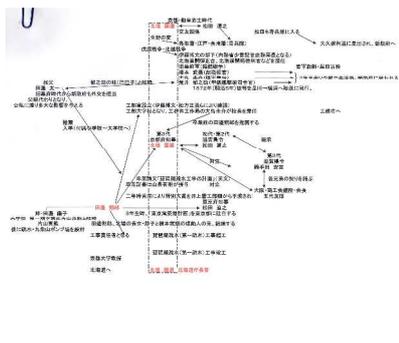
行程表



京都インクライン物語



琵琶湖から流水を引いた人脈と技術



琵琶湖流水の歴史散歩

